

YMCA News

12

2024年12月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日(月刊定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 名古屋YMCA広報

プレゼントのお返しは？

日本基督教団 東海教会 和田 芳子



天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」
(ルカによる福音書2章10～11節)

天使が夜、寝ないで羊の番をしていた羊飼いに告げた通り、今、私たちにも「大きな喜び」が与えられています。それは、イエスさまという神さまからのプレゼントです。プレゼントをもらったら、プレゼントのお返しをしなければ、と思います。

どんなお返しをしようかな、と考えます。どんなお返しをしたら喜んでもらえるかな、と思います。

では、イエスさまというプレゼントを与えて下さった神さまには、どのようなお返しをしたらよいのでしょうか。それは、ひとりひとりの心のなかにイエスさまを受け取ることです。そしてともにいてくださる方としてイエスさまを迎えることです。それ以外には何もお返しはいらないのです。けれども神さまには、私たちにもうひとつ願っておられることがあります。それは「民全体に与えられる喜び」が、すべての人に行き渡り、すべての人とわかち合うということです。

それは、何か大それたことを行うことによるのではなく、イエスさまのお誕生が人々のなかで目立たない「羊飼いに告げられ、羊飼いが人々に伝えて行ったように、身近なところからすすめていくことによるのです。

そのことを名古屋YMCAの活動を通して行うために名古屋YMCAでは、毎年皆さまにクリスマス献金をお願いしています。

その目的のひとつは、「青少年育成」です。名古屋YMCA

の自慢はなんといってもキャンプ!そのキャンプを、置かれた環境に関係なく多くの子どもたちに体験してもらうために活用します。そして子どもたちの体験を最高に楽しいものにするために、子どもたちを支えるユースボランティアリーダーを育成していきます。

もうひとつは「国際協力」です。これからの社会をつくっていく若者たちが、国を越えて集い、お互いに顔を合わせて語り合い、同じ体験をしていくことをすすめます。そして日本に来た留学生たちに、生活の不安なく学んでもらえるように支えていきます。これらのことがこれからの平和へとつながっていきます。

そして、「地域交流」です。小さな子どもから大人まで一緒に「クリスマスキャロル」を歌って、クリスマスの喜びをたくさんの方に伝えます。また、名古屋の地でさまざまな問題に取り組み、活動する人たちと協働していき、名古屋YMCAの目指すことを様々な形で発信していきます。このような地道な活動を通して、名古屋YMCAから地域へイエスさまのお誕生の喜びが広がり、人々が幸せになることが広がっていきます。

名古屋YMCAは、皆さんからいただくクリスマス献金を、これらのことに毎年かわらず、使わせていただいています。長く続けて行くことはすばらしいことです。なにしろ、クリスマスこそが長い長い間、お祝いされ続けてきて、これからも毎年、お祝いしていくのですから。



イベント報告

第31回 名古屋YMCA インターナショナルチャリティーラン

11月2日(土)に第31回チャリティーランが今年も名城公園にて開催されました。31回目を迎えた本大会ですが、長い歴史の中でも雨天での開催は過去に1回のみ。そして今回が2回目となってしまいました。そんな悪天候にも関わらずランナーとボランティアや応援者等総勢1000名近くの方々にご参加いただきました。個人レースでは昨年惜しくもメダルを逃した子どもが今年は見事な走りでメダルを獲得し満面の笑みで表彰されていました。またチームレースでは仲間と共に走り、笑顔でタスキリレーされ、ゴールではみんなでアンカーを待ち、互いの頑張りを称え合っていました。



今大会では皆様のご協力により、300万円近くの支援金が寄せられました。レースへの参加費の他、多くの企業や個人の方々から大会運営のための支援金や物品をご寄付いただきました。本当にありがとうございました。

天候には恵まれなかった本大会ですが、どんな時でも支えてくださるボランティアのみなさんと、笑顔あふれるランナーはまさに「楽しく走る・応援する」本大会の趣旨を実感するものとなりました。これからも助けを必要とする人に寄り添い走り続けていきたいと思っています。
(担当スタッフ 谷口 みはる)

第31回 名古屋YMCA チャリティーゴルフ

11月21日(木)、三重県の鈴鹿カンツリークラブにて第31回名古屋YMCAチャリティーゴルフ2024が開催されました。遠方からのご参加を含め、総勢96名のご参加をいただきました。また、多くの協賛品の提供もいただきました。参加者の皆様、および実行委員長をお支えいただいた実行委員会の皆様には心より感謝申し上げます。

さて、前日は気温が低く天候を心配しましたが、当日は晴天に恵まれ、参加者の皆様には心地よい気温の中でプレーいただけたのではないのでしょうか。参加いただいた皆様には、参加費+ワンオンチャレンジ寄付を含め、支援金総額288,950円をいただきました。誠にありがとうございました。今回のチャリティーの目



的である①留学生支援②東日本大震災を覚えて③貧困児童対策―学童キャンプ支援にご貢献いただき、感謝しかありません。

来年以降もぜひご参加いただけると幸いです。

(実行委員長 中根 和隆)

南山ハーベスクラブ 秋の収穫祭

南山ハーベスクラブの秋のプログラムが大体終了しました。今年は天候に恵まれ中止になったプログラムはひとつもなく、秋空の下、参加していただいた皆様に楽しんで頂きました。

私たちハーベスクラブの目指すところは、YMCAへのサービスや地域社会への奉仕、YMCAにつながる会員同士の仲間意識の向上です。YMCAサービスとしては、南山幼稚園、YMCAかみさわ保育園、かりやYMCA保育園の遠足、発達サポートYMCAつるさとの家族会、野外活動フラワーの例会、名古屋YMCA日本



かりや保育園遠足

語学院への収穫物提供、などでした。地域活動としては、ハーベスクラブのメイン行事のフェローシップとして昭和区の名広愛児園、南山寮の児童施設招待のプログラムで子どもたちは芋ほりをしたり、ピザを焼いたり昼食を取ったり、一日楽しい時をもってくれました。また障がい者施設の「希望の家」「愛実の会」の方々も、車いすから降り、芋ほりをしました。その他会員の関係する2団体からも参加があり、この秋は約350名以上の方々に農園で楽しんで頂きました。指導したり、お世話したりしながら、子ども達や参加者の笑顔を見ることが我々メンバーの一番の楽しみです。異常な暑さの最中の水やり、草取りの苦労も楽しみに変わる一時でした。

秋のプログラムが一段落しても、春の玉ねぎ、ジャガイモの植え付けなどが待っており、休む暇はありませんが、皆で作業することも楽しみの一つです。ご興味のある方ぜひ一緒にしましょう。

(南山ハーベスクラブ 荒川 文門)

南山ハーベスクラブ 連絡先
nanzanharvest@gmail.com

総主事コラム

寄り添う2

(能登半島災害支援)

輪島市内から水害被害の大きかった町野町まで閉ざされた道を迂回しながら車で1時間。道中は崩壊した山と家屋が続きます。町野町の入ると崩壊した家屋に潰された車が未だに放置されており震災の被害の大きさを感じます。そこに大量の土砂が流れ込んだ痛手は想像を絶するものだとしか表現できません。私たちは現地ボランティアセンターと協力し、土砂が流れ込んだお家の清掃活動に向かいました。土間に流れ込んだ土砂を洗い出し、使えなくなった家具を廃棄します。裏を流れる用水路に流れ込んだ土砂を土嚢に詰めて運び出し、雨が降っても2次災害が起きないように備えます。すべてはお家の方と相談し、要望をお聞きしながら進めていきます。今回訪れたお家は介護の必要なお父さんと83歳のお母さん。

綺麗に整えられたお庭に向かい、お茶会を開くのが楽しみだったようですが、すべて土砂に埋もれてしまいました。ボランティアセンターに寄せられた依頼は危険な裏の排水溝の泥出しでしたが、実際訪問してお聞きすると色々なニーズがあることがわかります。本当は、大規模な排水溝は行政が重機で行い、住居内をボランティアが担当すべきでしょうが、手が足りていないの是一目瞭然です。泥が流入し使えなくなったトイレの浄化槽の修理に来られた業者さんも同じ町の被害者で、2階建てのお家の仕事場だった1階部分が浸水し、車も2台流されたが唯一残された道具を積んだ1台の軽ワゴンで修理に回られています。実は既に引退し、働く必要はないけれどもこの町を見捨てて避難はできないと一気にお話をされました。1人のボランティアができる作業は少ないけれど、同じ空間で、お話を伺うことの大切さを改めて感じました。

(中村 隆)

移転のお知らせ ～発達サポートYMCAつるさとからかみさわへ～

発達サポートYMCAつるさは、活動スペースの課題克服や共生社会形成に向けたインクルーシブ教育の強化のため、2025年1月に事業所を神沢ファミリーYMCA3階部分へ移転することとなりました。

新しい施設は、広い運動スペースや支援スペースを利用し集団療育や個人課題に取り組むことや、野外活動における様々な体験や経験を通して、子どもたちの「勇気をもって挑戦する姿勢」「感謝、思いやりの心」「自分を表現する力」を育てていきたいと思ひます。

また併設する YMCAかみさわ保育園との交流プログラムを積極的に行ひます。神沢ファミリーYMCAとYMCAかみさわ保育園が協働して運営する新しい施設



は、子どもたちがともに遊び、ともに学び、ともに成長していく場となることを願っています。

(担当スタッフ 平 真輝)

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年10月21日～11月20日)

維持会員

(継続) 種村 芳枝 前田 敏江 阿部 一雄 坂口 功祐 信田伊知郎 下村 明子 高田 士嗣
服部 庄三 早川 政人 松原 行謙 中條 秀和 松本 勝 松本 淳子 藤若 雪絵
林 左希也 六車 康廣 野村 靖子 尾関めぐみ 三枝 隆 遠藤 通寛 渡邊 徹朗
杉浦 光子 川瀬 恒史 谷川 修 高橋 榮一 中村 隆

寄付金・募金

(国際協力基金) 牧野 和博 東田 美保 松浦 剛 徐 彦誠 北村 称子 まるも小友合 山田 蘭
山田 樹 大東 世奈 宮川 詩織 宮川 瑞穂 原田 和実 村瀬 慶一 村瀬 未来
奥村 優樹 鶴野 晃成 桃井 環季 梅谷 なな 大嶋 研慍 大嶋 怜佳 雨宮 依里
雨宮 悠透 松尾 恭佑

(かみさわ保育園10周年記念基金) 宮川 仁絵 大嶋 康生 神野 啓子 牧野 和博 野村 靖子 北村 称子
中村 隆 義井 裕子

(チャリティーラン) 山内 栞 藤田螺子工業株式会社 日立建機日本株式会社 游神会 株式会社三菱UFJ銀行
名鉄六合株式会社 名古屋栄ロータリークラブ 株式会社名エングループ本社

(学童キャンプ) 藤田 瑠美 西日本区大会実行委員

(青少年基金) 加藤 明宏

(一般寄付) 山口 幸子 松浦 剛

早天祈祷会

日時 12月3日(火)
7:45～8:30

会場 名古屋YMCA

奨励 愛知守山教会
狩野 進之佑師

ワイズコーナー 12月例会の予定

名古屋	12月14日(土) 17:30～20:30	クリスマス礼拝	名古屋ガーデンパレス
名古屋東海	12月15日(土) 時間未定	クリスマス例会	ラ・スースアン
名古屋 グランパス	12月14日(土) 時間未定	クリスマス例会	ラ・スースアン

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんという幸せ なんという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)